

令和5年度 第4回 光が丘中学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和6年2月5日(月) 午後1時30分から午後3時10分まで
- 2 開催場所 浜松市立光が丘中学校 会議室
- 3 出席委員 甘蔗 孝仁(会長)、松井 章泰、青山 敏郎、溝口 玄、笹竹 和行
坂井 久司、森下 智子、實森 浜代、鈴木 忠
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 山下 拓(校長)、古橋 康浩(教頭)、横山 貴美恵(CSディレクター)
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 横山 貴美恵

8 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、輪番により溝口委員にお願いしたいとの発言があり、全員異議なくこれを承認した。本日は、溝口委員が議長を務めることとなった。

9 協議事項

- (1) 学校評価アンケート、いじめ防止基本方針、今後の対応について
- (2) 学校運営協議会の自己評価について
- (3) 令和6年度学校運営の基本方針(グランドデザイン)について

10 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校評価アンケート、いじめ防止基本方針、今後の対応について

議長の指示により、教頭から、資料(7~19頁)に基づき、学校評価アンケート、いじめ防止基本方針、今後の対応について説明があり、委員からは、授業参観の感想も含めて以下の発言があった。

- ・学校評価については、先生方からの評価はしていないのか。(松井委員)
→これとは別に、文章の形でやっている。(校長)
- ・何のために学校評価をしているのか。年度ごとの比較はしているのか。(松井委員)
→過去のアンケート結果を自身で確認することはあるが、このアンケートの仕組み上、年度毎の比較はしていない。今回の結果は2学期との比較はできている。(校長)
- ・(決められた回答を選ぶだけではなく、)意見を書く欄はあるか。(松井委員)
→意見を書く欄はある。(校長)
- ・子供同士のやりとりや、いざこざ、人間関係が「いじめ」という言葉に総括され、独り歩きしている感がある。子供と子供の関係がどうだったかに着目した方が良いので

はないか。「いじめ」と一括りにされ本来の問題が見落とされるということはないか。光が丘中学校だけに限らず、全国でもそうだが、生活指導で対応する部分か、いじめなのかどうかの判断が必要に思う。(青山委員)

- ・PDCAサイクルの仕組みはこれから大切になると思う。「いじめ」ということでなく、辛い思い、悲しい思いをしている生徒への対策として「D：どうだったか」「C：うまくいったか、いかなかったか」を確認することが必要。困っている生徒を救うことはエンドレスだと思う。(会長)
- ・アンケートに(資料9頁)、将来やりたいこと(夢)、挑戦したいこととあるが、やりたいことがない、分からないと答える生徒がいることは残念に思う。生徒たちがなぜそうなったのか、知りたいところである。生徒がいじめられていることを、(生徒自身が)相談できる場が必要だし、言葉にならないいじめを拾い上げる対策が必要。(坂井委員)
- ・2年生の立志式で将来の夢を述べるが、高校で夢を探すという子もいるのでは。夢が続いていくと良いと思う。(溝口委員)
- ・自分が中3だったとき、夢や希望がどうだったか。将来を見通せない子もいるのではないか。ダラダラにならないようにしなければいけないが。(森下委員)
- ・中学生は精神的にも不安定な時期。個々の性格であったり、大事に育てられていることもあったりするが、精神的に強く育て欲しい。これからの時代、何か得意なもの、大好きなもの、がんばれるものを見つけて前に出してあげる、ほめて伸ばしてあげられると良いと思う。苦手なもの、好きなものがそれぞれあるので、良い方を目立たせたい。また、頑張っているところを見つけて伸ばしてあげられると良い。小学校6年間の基礎ができていないと苦しくなるので、つまずきがどこかを見つけない。学校が楽しい場所であると良い。(實森委員)
- ・「いじめがない」の質問に1年生に少しマイナスの回答がある。教育相談の実績はどうか。(笹竹委員)
 - 今年度3回目に関しては、今日から相談が始まっている。生徒からの希望が出てきたら、希望に沿って対応する。(教頭)
 - 担任の教師に言いづらいこともあると思うので、そういったことに対応できるよう、教師の垣根を越えて対応できる仕組みにしている。(校長)
 - 具体的には、職員室の前にポストを置き、生徒の困りごとを用紙に記入して受け付けるようにしている。(教頭)
- ・宿題への取り組みに関して、中1は取り組み方が少なく、中3は増えている様子が確認でき良かった。いじめに関しては、組織的に対応していただいているようで良いと感じる。(鈴木委員)
- ・アンケート結果について、保護者へのフィードバックはどうか。(松井委員)
 - 来年度に向けては前期・後期を比較したもの、職員の見解を踏まえたものをフィードバックできるよう検討したい。(校長)
 - アンケートでは、不登校の生徒がどのような回答をしたのかについて、分かるか。(松井委員)

→システム上、分からないようになっている。(教頭)

→ホームページには、「生徒用」「保護者用」「教師用」をそのままの形でフィードバックできるよう検討する。(校長)

- ・「安心できる居場所づくり」「学習、学力の定着」「夢をもたせるキャリア教育」の3点が学校の課題と感じる。(松井委員)
- ・本日の参観では、2年生に欠席が多いが、コロナやインフルエンザが流行っているのか。(實森委員)
 - 2年生は不登校気味の生徒が多く、5人程固まっていることもある。「すぎのこ教室」へ毎日通っている生徒もいる。
- ・自分の生きてきた道を振り返ると、流されてきたこともあり、与えられた場所で努力してきた。やりたいことを明確にもっている子供は多くないのでは。なくても大丈夫と感じる部分もある。(会長)
- ・置かれた場所で咲く、そこで努力するというのも大切だと思う。(溝口委員)

協議の結果、「学校評価アンケート、いじめ防止基本方針、今後の対応について」は、承認不要とした。

(2) 学校運営協議会の自己評価について

教頭から、学校運営協議会の自己評価について、資料(20頁)を用いて説明があり、委員から以下の発言があった。

- ・「評価項目4」については、次年度の目標と捉えて良いか。(松井委員)
 - 良い。協議会初年度である昨年度は、「ダンス指導」「家庭科の調理実習補助」「天竜の魅力再発見講演会」等の活動を企画したが講演会が実施できなかった。今年度は講演会も実施することができた。来年度もこれらの活動も考慮しつつ、無理のない範囲で、できることから対応したい。(教頭)

協議の結果、「学校運営協議会の自己評価について」は、承認不要とした。

(3) 令和6年度学校運営の基本方針(グランドデザイン)について

議長の指示により、校長から資料(22頁)を用いて、令和6年度学校運営の基本方針(グランドデザイン)について説明があり、委員から以下の発言があった。

- ・令和5年度よりすっきりしていて良いと思う。(溝口委員)
- ・グランドデザインは校長の取り組みたいイメージを表現したもの。以前の方針を引き継ぐという伝統もあるが、思いがあれば変えていくのは良いと思う。光が丘中学校は、龍山中、竜川中、光明中が統合され1つになっているため、地域の想いを背負って運営して欲しい。(松井委員)

・校長の来年度に勝負をかける姿勢を感じありがたい。飾りにならないよう、どのように具体化するかが課題。青写真に基づいて、どうしていくか期待している。(青山委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

【その他報告事項等】

- ・司会の教頭から、次回会議は、令和6年5月13日(月)午後1時30分から会議室で開催予定との説明があった。議長は、輪番により笹竹委員にお願いしたい。
- ・教頭から、夢育やらまいか事業に関する実績について、市から支援金を6万円頂いており、「家庭科の調理実習補助」「天竜の魅力再発見講演会」「ダンス指導」に掛かった費用を中心に報告する旨の説明があった。
- ・教頭から、協議会委員の任期は3年であり、本校は今年度2年目となるが、都合により、役を降りる方がいたらお知らせ頂きたい旨と、保護者代表としてPTA会長の鈴木委員は、PTA会長の交代に伴い、委員も交代するため、今回が最後となる旨の説明があった。
- ・教頭から、「全国コミュニティースクール研究大会」の様子がインターネットに上げられているとの紹介があった。